

今日の本 大きくなっても 覚えていてくれるかな



▲市立図書館1階にある
じゅうたん敷きの小上
がり。絵本や紙芝居が
並ぶ



▲『ブックスタート』で
配布している絵本やア
ドバイス集



皆さんには、自分にとっての思い出の一冊はあ
りませんか。子どもの頃、大好きで何度も何度も
読んでもらった一冊。辛いときに支えてくれた一
冊。感動して涙を流した一冊。掲載された写真が
とても印象的で、鮮明に記憶している一冊。そん
な一冊一冊が、今の自分を形作ってきたのではな
いでしょうか。

本の楽しさを知る

活字離れが叫ばれて久しい昨今
ではありますが、『本を読む』こ
とは、今も昔も言葉を学び、知識
を得るとともに、表現力を高め、
また、想像力の育成につながりま
す。

市は、子どもたちが幼い頃から
読書を習慣付けていくよう平成18
年3月に第1次となる『登別市子
ども読書活動推進計画』を策定し
ました。

現在は、『第3次登別市子ども
読書活動推進計画』に基づき、幼
い頃から本に親しみ、本の楽しさ
を体験できるよう、成長段階に応
じて読書の機会を提供できるよう
環境整備を進めています。

その取り組みの一つとして、
『ブックスタート』と『ライブラ
リースタート』があります。

まだ、自分で字を読むことがで
きない子どものときから、保護者
とふれ合いながら、愛情いっぱい
のあたたかな声で絵本の世界を楽
しむことは、子どもの豊かな感受
性を高めることはもちろん、親子
のコミュニケーションの大切な機
会にもなります。

市は、4カ月児健診のときに絵
本数冊と市立図書館にある『おす



▲幅広い種類の絵本からお気に入りを選ぶ
『ライブラリースタート』

すめ絵本リスト』、アドバイス集
コットンバックを配布する『ブッ
クスタート』事業を実施し、保護
者の読み聞かせに対する意欲を高
めるとともに、子どもの頃から本
にふれ、本に親しむ機会づくりに
取り組んでいます。

また、さまざまな言葉を覚え始
め、いろいろなことへの好奇心が
膨らむ3歳児を対象に、数種類の
絵本を図書館などで実際に見てい
ただき、気に入った絵本を1冊プ
レゼントする『ライブラリース
タート』事業を実施しています。
絵本に込められた仕掛けなど、
文章だけでは表せない本の世界が
子どもの興味を深め、豊かな感受
性を育むとともに、本の楽しさを
知ること、子ども自らが次の一
冊へと手をのばしていくのでない
でしょうか。